

報道関係者各位
プレスリリース

2006年9月15日
(有)アミーゴジャパン
代表取締役 海保眞

千葉県産業振興センタービジネスソーイング事業を受託した
『「アイラブ西千葉」観光事業研究プロジェクト』のキックオフパーティー開催が決定

有限会社アミーゴジャパン(所在地:千葉県千葉市、代表取締役:海保眞)は、財団法人千葉県産業振興センタービジネスソーイング事業において『「アイラブ西千葉」観光事業研究プロジェクト』を受託した(助成金交付2,700千円)。産学連携のプロジェクトとして、特定非営利活動法人TRYWARP(所在地:千葉県千葉市、代表理事:虎岩雅明)、千葉大学工学部デザイン工学科清水研究室、千葉大学教育学部藤川研究室、千葉タウン情報紙「ちあ」(代表:木戸満智子)、ピーナツクラブ西千葉(世話役代表:木村保蔵)と協働して事業を行う。

同事業を開始するにあたり、同社はキックオフパーティーを下記の通り、開催する。

記

日 時	2006年9月27日(水)15:00~17:00
場 所	パスタ専門店「壁の穴」 (所在地:〒260-0044 千葉市中央区松波2-19-5、電話:043-252-1811)
内 容	1. ご挨拶(有限会社アミーゴジャパン 代表取締役 海保眞) 2. 計画発表 ・西千葉SNS「あみっぴい」と商店データベースの連携 ・シャッターアート研究 ・修学旅行研究 3. シンガーソングライター松尾貴臣氏による演奏
集客予定	50名
入 場 料	会費500円
出席予定 (順不同)	・財団法人千葉県産業振興センター ・千葉県商工労働部 ・千葉市経済部経済振興課 ・財団法人千葉市産業振興財団 ・国立大学法人千葉大学工学部デザイン工学科清水研究室 ・国立大学法人千葉大学教育学部藤川研究室 ・特定非営利活動法人TRYWARP ・千葉タウン情報紙「ちあ」 ・西千葉コーディネーターまちいろぐみ ほか

以上

(参考)『「アイラブ西千葉」観光事業研究プロジェクト』概要

目的：

千葉大学を中心としたまち「西千葉」を学び体験するという観光事業化を図る。このために、西千葉を活用するツールを作り、西千葉のブランドを作り、西千葉を外部に宣伝する手段を確立することで、西千葉に住んでいる人が西千葉を好きになり、外部に対しても魅力的なアイラブ西千葉作りを産学協働で行う。

西千葉の地域性、新規性、先進性：

[1]「大学を中心としたまち西千葉」の観光資源の開発、研究を千葉大学、NPO、市民団体が協働して行う。

[2]行政区域として存在せず、人々の心の中で識別されるエリアをブランド化する事が可能。

[3]商店街と幅広い世代の住民にITが普及しているエリアである。

- ・地域通貨「ピーナッツ」のIT決済が普及している
(千葉県支援事業「地域通貨まつり」「地域通貨IT決済実証実験」の成功事例)
- ・地域SNSのいち早い導入と普及(会員数約800名、アクセス数月間約15万PV)
(日本経済新聞、日経産業新聞(全国)、朝日新聞・取材)
- ・SNSと地域データベースの連携は全国でも新しく可能性が模索されている。

[4]千葉県唯一の国立大学法人千葉大学を中心とした街(大学とのまちづくり研究が盛ん)

- ・千葉大学長、千葉大学生協、千葉大学知的財産本部、千葉大学各研究室との連携が容易

[5]西千葉市民プロデュース化粧品「花」の存在するエリアである。

[6]松尾貴臣氏が西千葉を歌ったCDで全国デビューを果たした。

[7]千葉大パソコンサポートーズが存在し、千葉大学生が地域住民のパソコンサポートできる制度が整っているエリアである。

[8]地域通貨の普及しているエリアである。

- ・地域通貨を利用する1200名のリソースを地域通貨で活用できる
- ・修学旅行生の地域通貨決済体験学習への協力実績がある(名古屋市大曾根中学校40名)
- ・地域通貨ピーナッツは小学校の教科書に載っている

[9]「西千葉のアイドル祭り」の開催実績があり、市民の手で活性化させたいというパワーがある地域である。

地元企業、商店街、住民、大学生、大学のコラボレーションによる音楽イベントをNPO法人TRYWARPが開催し、新聞各紙からの取材実績(日本経済新聞、朝日新聞)

事業内容：

[1](西千葉を活用するツール作り)西千葉SNS「あみっぴい」と商店データベースの連携

西千葉にあるほぼ全ての商店を西千葉SNS「あみっぴい」(<http://amippy.jp/>)上に当該地域の地図情報とともに、データベースとして登録することで、SNSというコミュニケーションのためのツール(ハード)にコンテンツ(ソフト)を加える。これにより、西千葉を活用する方法が容易に検索できるようになるだけでなく、SNSの特性を活かした口コミ情報などが活発化する。

[2](西千葉のブランド作り)シャッターアートによるランドマーク作り研究・実践

個々の店舗が独立したテーマで描くのではなく、西千葉のランドマーク「アイラブ西千葉シャッターアート」として、複数商店のシャッターアートをストーリー仕立てで完成させる。「壁の穴、ぎやまん亭、蛸銭、JIRO、お好み亭」のシャッター10枚「長さ約22メートル」を制作し完成披露パーティを行う。これにより、西千葉のランドマークが完成し西千葉のブランド意識を高めることができるだけでなく、商店街の各店舗や千葉大学の連携のあり方を、模索、研究できる。

[3] (外部への宣伝方法確立) 修学旅行プラン作り研究・実践

- ・西千葉地区の小中学生に地域を調べてもらい、修学旅行のネタになりそうなものを提案してもらう。地元で詳しい小中学生の調査には多彩な提案が期待される。
- ・西千葉地区以外の小中学生に来てもらい、西千葉を調査してもらう。その後修学旅行のネタになりそうなものを提案してもらう。こちらは地元の人が見逃した点、当たり前だと思っっているような観点が確認できる。
- ・商店街から小中学生に提供できる事(地域通貨・シャッターアート等)を集め、西千葉でのフィールドワークと絡めて企画モデルを作る。

これらの研究を発展させることにより、街での職業体験やフィールドワークを行うことが出来る街として、修学旅行という大きなイベント以外にも校外学習・遠足等で西千葉地区を小中学生に利用してもらう汎用性を持っている。

プラン完成後には、教育学部のネットワーク、全国メディアを利用し、全国の小中学校からの修学旅行を実現させる予定。

実施体制：

事業主	： 有限会社アミーゴジャパン
プロデュース	： ピーナツクラブ西千葉
データベース化	： 特定非営利活動法人 TRYWARP
シャッターアート研究	： 千葉大学工学部デザイン工学科清水忠男研究室
修学旅行研究	： 千葉大学教育学部藤川大祐研究室 特定非営利活動法人 TRYWARP
広告・広報	： 千葉タウン情報紙「ちあ」

助成金募集要項に関しては <http://www.ccjc-net.or.jp/~pdd/index6-4.html> をご覧ください。
西千葉 SNS「あみっぴい」に関しては、<http://amippy.jp/> をご覧下さい。

有限会社アミーゴジャパン 概要

設立	昭和 39 年 12 月 21 日
事業内容	美容化粧品販売事業 介護事業
資本金	3,000 千円

本件に関するお問い合わせ先

有限会社アミーゴジャパン 代表取締役 海保眞
千葉市中央区松波 2-18-5
電話・ファクス 043-253-6156
amigokaiho@yahoo.co.jp
